

長岡中央総合病院 倫理委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	肝内結石症肝切除後の異時性胆道癌発生に関する疫学研究
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	研究責任者：北見智恵 対象：肝内結石症に対して肝切除を施行し、胆管癌が発生した症例
③概要	肝内結石症は良性疾患でありながら完治が難しい。肝内結石症の重要な合併症のひとつとして肝内胆管癌があり、重要な予後規定因子である。発癌リスクを排除するための治療として最も有効であるのは肝切除術であるが、肝切除後においても胆管癌が発症する。しかし、異時性胆管癌に対する治療成績は満足するものではない。本研究の目的は、肝内結石症肝切除術後に発生した異時性胆管癌を調査し、その病像を解析し有効な診断や治療法を考察することにある。
④申請番号	534
⑤研究の目的・意義	肝内結石症肝切除術後に発生した異時性胆管癌の臨床病理像を解析し、肝内結石症肝切除術後に発生した異時性胆管癌の治療成績改善に大きく寄与する可能性が見込まれる。
⑥研究期間	2021年6月29日から2023年3月31日
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	匿名化された診療側ベースの調査票を杏林大学に送付する。
⑧利用または提供する情報の項目	診療録 病理 画像
⑨利用の範囲	長岡中央総合病院 外科部長 北見智恵 杏林大学医学部消化器 一般外科研究責任者 准教授 鈴木裕
⑩試料・情報の管理について責任を有する者・連絡先	長岡中央総合病院 外科部長 北見智恵 杏林大学医学部消化器 一般外科研究責任者 准教授 鈴木裕
⑪お問い合わせ先（照会先及び研究への利用を拒否する場合の連絡先）	長岡中央総合病院 外科 北見智恵 〒940-8653 新潟県長岡市川崎町 2041 番地 TEL0258-35-3700 FAX0258-33-9596